

# MIRAI

vol.2  
2011.12.10発行

みんな元気に輝いて生きる

## Information

イルミネーションイベント  
12月10日(土) 16:00~18:30  
名張育成園一帯

イルミネーションイベントは、育成園がもっとも華やかに彩られるビッグイベント! 模擬店や様々な催しを行い、いつも多くの来場者で賑わいます!!

育成園は一との絵本「アサムとマヒル」が、アニメーションカタログになりました! ホームページからご覧ください。



発行:名張育成園MIRAIプロジェクト 社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936  
発行責任者:市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者:池上祥二(社会福祉法人名張育成会) 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字・イラスト:千秋育子

## People

### 杉本一平さん(20)

名張市と伊賀市の境にある山間部に突然現れるビニールハウス。その中で、杉本一平さんは黙々と作業を続けています。今回は一富士フードサービス株式会社のスタッフとして働く杉本さんを紹介します。

2年前の春、地元の伊賀つばさ学園を卒業した杉本さん。重度の知的障がいに伴う自閉症でしたが、就労に向けて、育成園の就労移行支援事業所「レインボークラブ(※1)」を利用されていました。

昨年、水耕栽培などを手掛ける株式会社夢農会へ3か月間のトライアル雇用を経て6月に社員として入社。11月からは、業務提携先の一富士フードサービスのスタッフとして働いています。

平日は自宅から職場まで、徒歩とバスで約1時間かけて通勤する杉本さん。午前8時すぎに自宅を出て、職場に

着くのは始業時間の午前9時30分前。

職場のビニールハウスでは、小さな野菜の種を付けたり、苗を定植するのが主な仕事。根気強さでは誰にも負けない杉本さんの個性が一番発揮できる作業だとか。

「一生懸命に作業してくれています。時間にも正確なので助かっています」と職場の方の評判も上々です。

「レインボークラブで仕事という観念が体得できた」と話されるお母様。学生時代から身だしなみなどは自分で気を付けて自力でやっていたといいますが、就労してからは特に「自分なりに健康管理しているよう」だとか。仕事という意識が向上したためなのか、バスと徒歩での通勤でも「体力が付いたのでは」と感心されています。

さて小学校低学年の時にピアノを



習っていた杉本さんは、今も月に1、2回「ぱれっと(※2)」で30分程度ピアノを習っており、育成園の支援者や同じ仲間の人たちとの映画鑑賞やカラオケ、ボウリングにも出掛けます。

また20歳を機に、今年の春ごろから週2回(水・金)ケアホームも利用し、夏ごろからは、定期的に伊勢市の皇學館大学へ電車で訪れ、同世代の学生と一緒にさまざまな活動に参加するなど、活発に活動しています。

そんな杉本さんの夢は、テレビコマーシャルによく出てくる大きな一本木を見に海外に出掛けること。いつか

実現するといいですね。

(※1)杉本一平さんは、名張育成会レインボークラブの「就労移行支援事業」を活用され、就業されました。詳しくは、お気軽にお問い合わせください。TEL:0595-67-4188、mail:rainbowclub@n-ikusei.jp

(※2)ぱれっと:相談支援施設、TEL:0595-67-0088

(ご本人やご家族のプライバシーは守りますのでご安心ください)



## Eye

地元高校写真部によるフォトメッセージ。障害や福祉を高校生の目線で捉え、若者の視点で、広く現状をお伝えしようというもの。みなさんと共に創造し、良い企画に育てていきたいと思っています。

第2回目は、県立名張西高校写真同好会の皆さんに、日常的な育成園の一部を撮影してもらいました。

また、今後掲載できなかった写真をブログに投稿していきますので、ご覧いただければ幸いです。



「微笑み」  
(山中 彩)

この方はカメラを向けると、必ず笑顔を見せてくれました(\*^^\*)  
「笑顔」というものは素敵なものだと改めて感じました(\*^^)v

「収穫の証」  
(山口 大介)

入口の脇で見つけた、可愛らしいカボチャです(\*^~^\*)  
育成園の方々が一生懸命収穫したのかな、などと考えつつシャッターを切っていました(#'w'#)ゞ

